

新たな夜明けに理念を掲げ猪突する ダイヤモンドエレクトリックグループの 耀く仲間達へ

代表取締役社長 CEO 兼グループ CEO 小野 有理

あけましておめでとうございます。

私がダイヤモンド電機の社長に就任後、有難くも三度目の正月を迎えることと相成りました。

日々新たに、而して昨年を省みれば、従前と変わらぬ処が就任以来の何れの日々にも勝るとも劣らぬ国内外土日深夜早朝益暮れ正月間わぬ東奔西走に明け暮れし過ぎにし此の一年間、先ずは平成30年3月期決算にて、危険からの蘇生及び企業再生に関わらず一切の人的リストラを行わず、無残に陥れられていた社員皆の処遇改善を劇的に実施した上で過去最高益を記録出来たこと、大慶の至りです。メインバンクを初めとする銀行様は勿論、お客様からも過分な御褒詞を多く賜りました。これもひとえに此之苦闘に満ちた再生の間、耀く仲間達皆が「みんなでいっしょにがんばる」姿勢で揺蕩えども沈まず、文字通り堅固なスクラムを組んで耐え忍び、愚直にお客様に真向かい、愚直にもつくり真向かうた結果だと誇りに想うばかりです。

だからこそ、従来の耀く仲間達打ち揃うて再生局面を乗り越えられた今こそ、真の再建、即ち、既に高々と掲げているものづくり復興、延いてはDSA2021売上高1,000億円並びに点火コイルシェア世界一に向こうて「ひと足宛はこぶ也」、更に一所懸命に経営計画書を実践し、お客様要求品質第一に努めねば為りません。即ち、我が社は危険は脱したものの、未だ危機の真つ只中に在り、安心が慢心を生むようなことを、そしてもう一度危険に曝されるような事態は絶対に避けなければ為らないのです。

秋、其之激闘の真つ只中に於いて10月にはダイヤモンドエレクトリックホールディングス設立。DSA2021達成は勿論、其之ゴールの向こうに駆け抜けんが為の深謀遠慮です。

また、時を同じくして上記のほんの数日前、94年に及ぶ歴史を有する東証一部上場、「ゼブラ」ブランドのトランスで知られる田淵電機株式会社の救済に名乗り。無論、此之事も私にとつては我が社の蘇生及び再生同様、仁義を頭かにし誠を貫くことに他為りません。而して同時に、社員皆で力を合わせて集団と為ればライオンにさえ立ち向かえるとの想いから其之名を冠した「ゼブラ」の魂を有する田淵電機の仲間達と共にそれぞれの危機にぶち当たってゆけば、必ずや存続及び発展の道が伐り拓けると、私はやはり、我が社の再生に当たった時同様、全身全霊で信じています。

耀く仲間達よ、新たな一年も新たな挑み、新たに加わる理念の理解を経営計画書の実践に依つて身に沁みる迄何処迄も推進し、新たに職位や部下及び後進を得る者は理念の伝導者として持ち得る能力の全てをやる気を以て最大限発揮し、愛する家族及び愛する仲間の為お客様を愛し其之仕事を愛す、

【オ】のみを恃みとするにあらず

理念を理解する【者】としての『猪突』を

以て、ものづくり復興への漸進、前進、そして突進、共に、突き進もう!!!